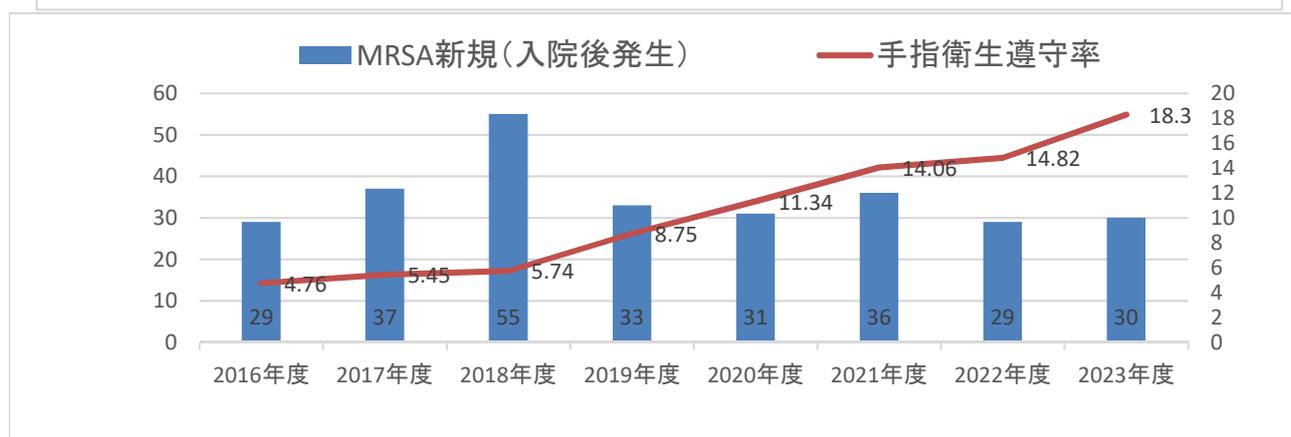
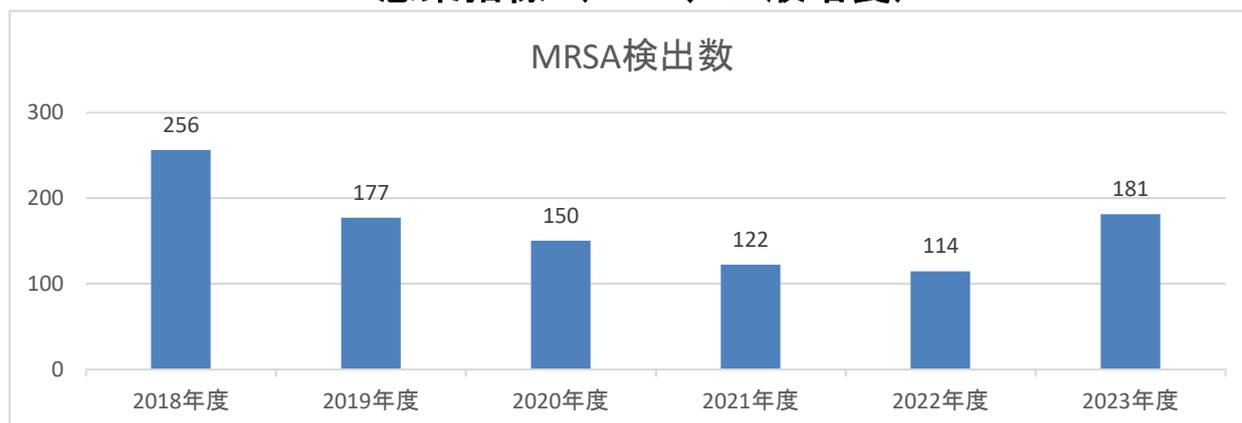
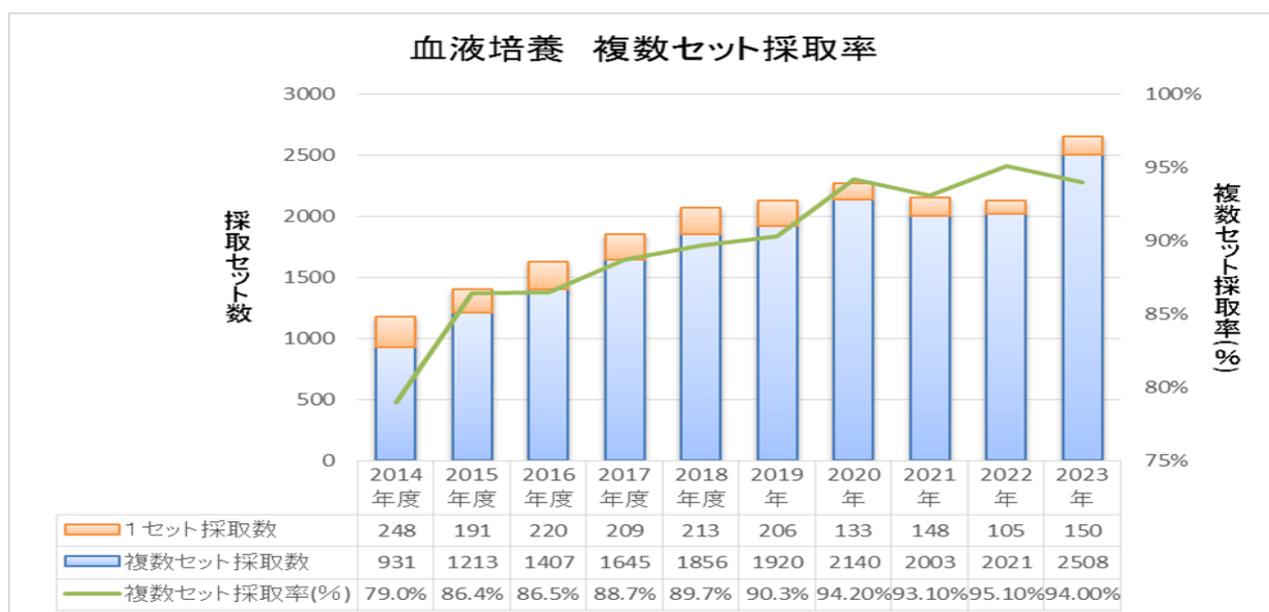


## 感染指標（MRSA、血液培養）



令和5年度はMRSA検出数が増加しました。能登半島地震の被災者からの持ち込み事例もあり、推移に注意が必要と考えています。また、手指衛生遵守率は年々増加し、新型コロナウイルス感染症の流行を機に手指衛生が定着し手指衛生への意識が高まっています。



血液培養を複数セット採取することにより、速やかに病原体を特定し治療に効果的な抗菌薬を選択できるため感染症に対し有効な検査となります。血液培養の複数セット採取率は毎年上がっており令和5年度は94%となりました。